

Humanity and Life

Psychology for Learning

Takuji Kawano · PROFESSOR / CENTER FOR UNIVERSITY EXTENSION

2 units 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『心理学』)

Target) あなたは「大学で学ぶ」方法は、これまでと同じ方法でよいと思いませんか。多くの学生にとって大学は最終学歴になるはずですが、卒業して社会に出て行く前に、卒業後も役に立つ「学ぶ方法」を学んでおくことは大切なことだと思います。この授業では、自分自身の学びを分析し、自分を理解することを通して生涯学習社会における自己の学びについて考えることを目的とします。

Outline) 学習心理学・教育心理学の基本概念を学び、大学での自らの学びにそれらを適用する方法を探ります。心理検査等を利用して、自分自身のラーニングスタイルを理解し、それに基づいた学習方法を実践し、その結果を報告することが求められます。また、他者の学習を援助することを通じて自分自身の学習を促進することも学びます。

Keyword) 大学での学び, ラーニングスタイル, 構成主義的理解

Goal)

1. 自己のラーニングスタイルが理解ができる。
2. 生涯学習社会を生きるための学習習慣を確立する。
3. 学んだことを分かりやすく他者に伝えることによって学びを定着させる。

Schedule)

1. オリエンテーションおよびグループ分け検査
2. 時間管理
3. ラーニングスタイル
4. ノートのとり方
5. テキストの読み方
6. 学習グループ, レポート
7. 学習理論:古典的条件づけ
8. 学習理論:オペラント条件づけ
9. 学習理論:社会的学習理論
10. パソコン, インターネットの利用
11. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (1)
12. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (2)
13. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (3)

14. 図書館の活用, 学びの原則

15. 課題, テスト, オフィスアワー

16. 全体の評価と解釈, まとめ

Textbook) 世界思想社編集部 (編)(2008)「大学生 学びのハンドブック」世界思想社 1,300 円

Reference) 参考書等は、適宜紹介します。

Evaluation Criteria) まとめノート, 学びのループリック, グループ発表 (以上, 必須), 課題分析レポート, 発表評価などによって総合的に評価する。

Re-evaluation) なし

Message) 第 1 回目のオリエンテーションに必ず出席してください。グループ分けをします。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220737>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Kawano (+81-88-656-7282, kawano@cue.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 前期:水 12:10~ 12:40pm または、アポイントメントによる)